

事業番号	事業名	内 容	対象外 項目番号
1	保健衛生総務運営事業	課内庶務等(在宅医療推進事業)	②
	母子保健事業		
2	乳幼児健康診査事業	乳幼児に関する各種(医科・歯科)健康診査	①
3	育児教室・相談事業	新生児・乳幼児の訪問指導、個別相談	-
4	救急医療事業	初期救急・二次救急医療	①
5	医師会・歯科医師会連絡調整事業	医師会・歯科医師会連絡調整	-
6	こころといのちのサポート事業	自殺対策、こころの健康	-
	妊娠出産前支援事業		
7	出産前支援事業	安産教室、マタニティスクール等	-
8	妊婦健康診査事業	妊婦に関する各種(医科・歯科)健康診査	⑤
9	妊娠支援事業	特定不妊治療費・不育治療費の一部助成	-
10	食育推進事業	食育推進全般	-
11	予防接種事業	定期・任意予防接種	①
	健康増進事業		
12	成人健診・運動事業	成人歯科健診、肝炎検査、運動講座等	-
13	地域巡回型健康増進事業	おあしす24健康おいぞの開催、モデル事業	-
14	オリジナル健康体操事業	おおいそ骨太体操・大磯こゆるぎ体操の普及	-
15	がん検診推進事業	各種がん(胃・肺・大腸・乳・子宮・前立腺)検診	①
16	スポーツ推進委員運営事業	生涯スポーツの普及(ニュースポーツ普及、活動報告)	-
17	保健体育総務運営事務事業	スポーツ関係庶務、スポーツ教室開催、スポーツ少年団活動補助等	-
18	町体育協会育成補助事業	スポーツ振興・交流、各種町民スポーツ大会開催、かながわ駅伝大会	-
19	一周駅伝大会運営事業	第63回大磯一周駅伝大会	-
20	スポーツ健康イベント事業	大磯チャレンジフェスタ2017	-
21	子どもスポーツチャレンジ事業	子ども水泳教室、キッズテニス教室、体操教室等	-
22	武道館維持管理事業	維持管理	-
	施設開放管理運営事業		
23	学校施設等開放事業	小中学校・民間施設の施設開放	-
24	学校プール開放事業	国府小学校プールの開放	-
25	他課との連携事業	専門職(保健師、管理栄養士)による連携	⑦

予算事業名	母子保健事業	シート作成日	平成29年8月18日
		担当課名	スポーツ健康課
細分事業名	育児教室・相談事業	係名	健康増進係
		事業番号	3
		事業開始年度	—

1.総合計画上の位置づけ

柱	I 安全で安心なあたたかみのあるまちづくり	総合計画実施計画	
部門	6 保健・医療	認定番号	—
大施策	A 健康づくりの充実	事業名	—
中施策	(2) ライフステージに合わせた健康づくり		

2.事業の概要

根拠法令・条例等	母子保健法				
個別計画等	大磯町子ども笑顔かがやきプラン				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	母子保健法に基づき、早期に良好な母子関係を成立させるとともに、ハイリスク児の早期発見を図る。				
対象 (誰を・何を)	乳幼児と保護者				
内容	《母子保健法に定められている項目》 ・保健指導：妊産婦若しくはその配偶者又は乳児若しくは幼児の保護者に対して、妊娠、出産又は育児に関し、必要な保健指導を行う。（要保護児童に関する訪問指導、子育て支援が必要なケースの養育支援訪問、関連機関との連絡調整、担当者会議等を含む） ・新生児の訪問指導、未熟児の訪問指導 《その他》・育児相談 ・なかよし教室 ・離乳食づくり教室				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
事業費		単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)
	直接事業費 (a)	千円	1,319	1,426	1,237
	国庫支出金	千円	221	221	644
	県支出金	千円	221	221	644
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	1,319	1,426	1,237
	職員人数 (概算職員数)	人	0.74	0.40	0.95
	人件費計 (b)	千円	4,417	1,694	4,402
総事業費 (a)+(b)	千円	5,736	3,120	5,639	
事業費内訳 H 29 年度	教室・相談講師謝金：569千円 消耗品費：47千円 新生児訪問委託：548千円 養育支援訪問：120千円 下線部に2/3 国・県補助金あり				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① なかよし教室 2歳児	人	223	185	202
	② 育児相談 出生数	人	173	190	184 (2月まで)
活動指標 (活動量)	① なかよし教室	回	18	18	17
	② 育児相談	回	6	6	6
成果指標 (達成度等)	① なかよし教室延べ参加数	人	216	303	216
	② 育児相談延べ参加数	人	150	154	186

4.事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 母子保健法により市町村の専門職が乳幼児の保護者に対し妊娠、出産、育児に関する必要な保健指導を行うことを義務付けられている。新生児訪問と未熟児訪問についても同様に義務付けられている。
	・実施手段は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 新生児訪問に加え新たに、養育支援訪問を委託し、支援が必要なケースに手厚く訪問が実施できるような体制ができた。その他、非常勤の専門職（保健師、栄養士、歯科衛生士等）を確保することにより、必要な対応ができています。
成果	・意図した成果が得られているか	理由	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 年6回の育児相談・なかよし教室などの専門職に気軽に相談できる場の確保ができています。
	・コストに対して効率的か	理由	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他 雇用する専門職の役割と町職員の役割が明確化し、効率的にできている。
効率性	・コストの削減等を図ったか	理由	<input type="checkbox"/> 図った <input checked="" type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他 「なかよし教室」のスタッフ（保育士）の人数の見直しが必要。
	担当課による評価	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 相談、教室事業は、育児支援の役割を果たしており、その他の母子保健事業・子育て支援事業との連携も密にできている。

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	要保護児童訪問指導、養育支援訪問について、マンパワー不足を委託する形で改善することを検討している。
② 平成29年度に着手する事項	「なかよし教室」の従事者を保育士3名から保育士2名とする。子育て世代包括支援センターのあり方について、子育て支援課とともに検討する。養育支援訪問事業を訪問看護ステーションに委託し、子育て支援課との連携しながら、事業を定着させる。
③ 平成30年度に着手する事項	平成32年度までに妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援を充実させた子育て世代包括支援センター機能の開設を目指し、継続検討。

6.平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成30年3月23日

妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援の充実を図るため、現在の育児相談に赤ちゃん相談を新たに加えて、合計8回開催とする。出産後間もない時期からの相談の場の確保とふれあい遊びなど育児教室の要素も取り入れる。なかよし教室の運営に際しては、新たに町立幼稚園で試行実施する満3歳児保育や私立幼稚園のプレ保育等の情報を確認し、必要に応じて連携を図る。産婦が安心して子育てできるように試行的に産後ケア事業（デイサービス型・アウトリーチ型）を新たに実施する。

予算事業名	医師会・歯科医師会連絡調整事業	シート作成日	平成29年8月18日
		担当課名	スポーツ健康課
細分事業名	—	係名	健康増進係
		事業番号	5
		事業開始年度	—

1.総合計画上の位置づけ

柱	I 安全で安心なあたたかみのあるまちづくり	総合計画実施計画	
部門	6 保健・医療	認定番号	—
大施策	B 地域医療の充実	事業名	—
中施策	(1) 医療体制の強化		

2.事業の概要

根拠法令・条例等	医療法、神奈川県保健医療計画、神奈川県地域医療再生計画、中郡医師会交付金交付要綱、平塚歯科医師会交付金交付要綱				
個別計画等	—				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	町民の地域医療体制及び災害時医療体制の確保				
対象 (誰を・何を)	中郡医師会、平塚歯科医師会				
内容	保健衛生事業の円滑な実施と安定的な医療体制の確保と災害時医療についての協議などを進めるための費用の一部を交付金として交付する。				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> その他				
	単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	1,701	1,624	1,624
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	1,694	1,624	1,624
	職員人数 (概算職員数)	人	0.25	0.60	0.50
	人件費計 (b)	千円	1,492	3,463	2,822
総事業費 (a)+(b)	千円	3,193	5,087	4,446	
事業費内訳 H 29 年度	委員謝金：52千円 傷害保険料：78千円 中郡医師会大磯班交付金：900千円 平塚歯科医師会大磯地区交付金：594千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 医師会班会会員数	人	21	21	21
	② 歯科医師会地区会会員数	人	13	13	13
活動指標 (活動量)	① 医師会班会	回	10	10	10
	② 歯科医師会地区会	回	1	1	1
成果指標 (達成度等)	① 医師会班会協力事業数	件	8	8	8
	② 歯科医師会地区会協力事業数	件	7	7	8

4. 事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	市町村は、地域において効率的かつ質の高い医療提供体制の構築に努めなければならないとされており、町民の医療を守るため、地域医療を担う医師会及び歯科医師会に交付金を交付している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	行政からの相談対応、人材育成のための研修会への参加、情報収集のための勉強会及び学会等への出席などに係わる費用弁償の相当額等として支出している。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	町が実施する各種保健事業への協力、支援を始めとして、地域医療に係わる検討会等への会員の派遣、災害時医療体制確保のための連携などが連絡調整により円滑に行われている。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	町が実施する各種保健事業への協力、支援を始めとして、地域医療に係わる検討会等への会員の派遣等に係わる医師会・歯科医師会の会員の協力日数・時間から計算すると概ね効率的と考えられる。
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input checked="" type="checkbox"/> その他	理由	過年度においても、適宜、交付金額の見直しを行ってきている。
	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	協力事業について量的な効率性の分析はされていないが、協力事業の数量によって交付金を決めることは困難と考えられる。

5. 改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	医師会・歯科医師会とともに取り組むべき課題は複雑・多様化してきており、地域における良質かつ安心できる医療を効率的に提供するための体制設備を確立するため協力事業の拡大を含め検証・検討する。
② 平成29年度に着手する事項	引き続き、地域の医療・介護関係者の多職種連携の推進を図るため、地域包括ケアシステムを構築する上で核の1つとなる「在宅医療」体制の整備について、地域包括ケアシステム構築の主管課である福祉課と協力して進める。災害時の医療体制について確立し、具体的な訓練を実施する。
③ 平成30年度に着手する事項	災害時医療体制について、医師会・歯科医師会と薬剤師会によるマニュアルによる訓練を開始する。

6. 平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成30年3月26日

地域医療とともに、災害時医療体制について医師会・歯科医師会と薬剤師会とともに検討を進める。

予算事業名	こころといのちのサポート事業	シート作成日	平成29年8月18日
		担当課名	スポーツ健康課
細分事業名	—	係名	健康増進係
		事業番号	6
		事業開始年度	平成23年度

1.総合計画上の位置づけ

柱	I 安全で安心なあたたかみのあるまちづくり	総合計画実施計画	
部門	6 保健・医療	認定番号	—
大施策	A 健康づくりの充実	事業名	—
中施策	(1) 地域ぐるみの健康づくり		

2.事業の概要

根拠法令・条例等	自殺対策基本法				
個別計画等	大磯町健康増進計画				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	いのちの大切さを改めて伝え、誰も自殺に追い込まれることのない地域づくりを進める。				
対象 (誰を・何を)	町民、職員				
内容	こころの健康セミナー、ゲートキーパー研修会、自殺予防週間にあわせた啓発活動（町内の公共施設等）				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	229	158	200
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円	150	96	128
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	79	62	72
	職員人数 (概算職員数)	人	0.22	0.43	0.33
	人件費計 (b)	千円	1,313	2,482	1,862
総事業費 (a)+(b)	千円	1,542	2,640	2,062	
事業費内訳 H 29 年度	こころの健康セミナー講師謝金、ふれあい体験、がん教育講師等 140千円、啓発物品等 60千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 町民	人	32,413	31,497	31,431
	②				
活動指標 (活動量)	① こころの健康セミナー	回	1	1	1
	② ゲートキーパー養成研修	回	1	1	2
成果指標 (達成度等)	① こころの健康セミナー参加者	人	16	26	26
	② ゲートキーパー養成数	人	17	30	47

4. 事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	自殺対策基本法、健康増進法に基づき市町村として取り組むべき事業と位置づけられている。
	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	県や他市町村の動向を踏まえ、自殺予防を啓発するための講演会の開催、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援に繋げることができる人材（ゲートキーパー）の養成を継続的に行っている。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	町民・職員向けの自殺予防に関する啓発ができています。特に若い世代への啓発について中学校との連携により定着して実施できている。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	若い世代へのいのちの大切さを伝える取組みとして、助産師やがん体験者の話は有効であり、そのほかにも効率的に運用されている。
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	講演会や研修会の講師の講演料については、県補助金を活用したり、積極的に県職員に依頼することにより支出を抑えている。
	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	県補助金を活用し、取組みが展開できている。自殺数の減少を目的としているが、単年度の成果確認は困難である。

5. 改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	自殺予防対策の取組みや講演会の開催、ゲートキーパーの養成研修会の開催については、内容や周知方法等については専門家からの助言も含め、検討が必要と考える。
② 平成29年度に着手する事項	自殺対策市町村計画策定の準備、情報収集
③ 平成30年度に着手する事項	自殺対策市町村計画の策定

6. 平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成30年3月23日

県の自殺対策計画を受けて町計画を策定する。町計画では、庁内関係各課、関連団体等との共通認識を持つことをより大切にする。

予算事業名	妊娠出産前支援事業	シート作成日	平成29年8月18日
		担当課名	スポーツ健康課
細分事業名	出産前支援事業（マタニティスクール等）	係名	健康増進係
		事業番号	7
		事業開始年度	—

1.総合計画上の位置づけ

柱	I 安全で安心なあたたかみのあるまちづくり	総合計画実施計画	
部門	6 保健・医療	認定番号	—
大施策	A 健康づくりの充実	事業名	—
中施策	(2) ライフステージに合わせた健康づくり		

2.事業の概要

根拠法令・条例等	母子保健法第9条から11条（妊産婦への保健指導）15条（妊娠の届出）16条（母子健康手帳の交付）				
個別計画等	大磯町子ども笑顔かがやきプラン				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	妊娠・出産に関する知識を得て、安全な出産を迎えられる。また、妊婦と家族が共に教室に参加し、育児へのイメージを持ち家族で協力して出産、育児に臨める準備ができる。				
対象 (誰を・何を)	妊婦とその家族				
内容	妊婦に対して妊娠中の健康づくりのため、妊婦や家族を対象に各種教室等を開催し、指導、相談を行っている。また、妊婦健康診査の重要性を周知するとともにマタニティマークの普及を図っている。				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
		単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)
事業費	直接事業費 (a)	千円	273	283	279
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	273	283	279
	職員人数 (概算職員数)	人	0.34	0.50	0.35
	人件費計 (b)	千円	2,029	2,271	1,336
総事業費 (a)+(b)	千円	2,302	2,554	1,615	
事業費内訳 H 29 年度	報償費 講師等謝金：92千円 需用費 消耗品費：4千円 印刷製本費 母子健康手帳：40千円、妊婦健診費要補助券 143千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 母子健康手帳交付数	人	210	197	178(2月まで)
	② 町内中学3年生生徒数	人	—	—	—
活動指標 (活動量)	① マタニティスクール実施回数	回	18	18	18
	② 思春期ふれあい体験実施回数	回	—	—	—
成果指標 (達成度等)	① マタニティスクール延べ参加者数	人	104	105	132
	② 思春期ふれあい体験参加者数 (実数)	人	—	—	—

4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	母子保健法第9条に基づく市町村事業として妊娠、出産又は育児に関し、個別的又は集団的に必要な指導及び助言を行い、知識の普及に努めている。
	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	継続的に行う必要があるため、町保健師、町栄養士が企画している。運営は、非常勤の専門職（保健師、助産師、栄養士等）を確保することにより、適切な対応ができています。
成果	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	参加人数はほぼ計画どおり。教室の内容については、参加者の声を反映しながらその都度見直し改善してきているため、出産後の育児に活かされている。育児全般に対して相談しやすい窓口として定着している。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	マタニティスクールは出生数を鑑み、年間を通して3コース（春、夏、冬スタート）の集中講座として、効率的に開催している。
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	マタニティスクールのプログラムの見直しにより、統合、または他事業利用などを進めた。また、マタニティスクールの一部内容が二宮町のマタニティスクールと同じ内容であるため、二宮町の開催日に大磯町民が参加できるようにし参加の機会の拡充をはかった。現在も成果を維持しつつ必要最低限の備品、実施時間、準備時間としており、これ以上の削減は難しい。
	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 母子健康手帳交付時の面接から早期にハイリスク者（特定妊婦）を把握し、出産前からのサポートが図られている。	
担当課による評価			

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	<p>思春期ふれあい体験は平成27年度から、命の大切さを伝える事業としてこころといのちのサポート事業へ移行。</p> <p>平成29年5月から利用者支援事業（母子保健型）として妊娠期からの切れ目ない支援を実施し、妊娠期の支援体制整備が図られる。専任の保健師による、よりきめ細かいサポートを図るため、教室の内容についても、再度、評価・見直しを行っていく。</p>
② 平成29年度に着手する事項	<p>妊娠期からの切れ目ない支援として平成29年5月から利用者支援事業（母子保健型）を開始し、専任の保健師による、より丁寧なサポート体制を整備していく。その中で、近隣市町村や医療機関のマタニティスクールの内容等を把握し、開催日時や内容について検討する。また、平成32年度までの子育て世代包括支援センターの設置を目指し、検討会を開始する。</p>
③ 平成30年度に着手する事項	<p>平成32年度までの子育て世代包括支援センター機能の開設を目指し、子育て支援課と連携しながら検討を継続。</p>

6.平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成30年3月23日

平成29年5月開始の利用者支援事業母子保健型によるサポート体制整備が、スムーズに子育て世代包括支援センターへ移行できるように、子育て支援課と連携しながら継続検討していく。

妊娠届出時の保健師面接から子育て期まで、個々の支援計画に基づくサポートを行い、支援内容については各種ごとに開催する担当者ミーティングにおいて確認し、必要に応じて見直しを行っていく。

マタニティスクールでは、交流を目的とする妊婦も一定数いることから、内容を見直していく。また、不安に感じていることの中には、保育園のことが多いため、子育て支援課と連携していく。

予算事業名	妊娠出産前支援事業	シート作成日	平成29年8月18日
		担当課名	スポーツ健康課
細分事業名	妊娠支援事業	係名	健康増進係
		事業番号	9
		事業開始年度	—

1.総合計画上の位置づけ

柱	I 安全で安心なあたたかみのあるまちづくり	総合計画実施計画	
部門	6 保健・医療	認定番号	—
大施策	A 健康づくりの充実	事業名	—
中施策	(2) ライフステージに合わせた健康づくり		

2.事業の概要

根拠法令・条例等	少子化社会対策基本法、大磯町特定不妊治療費助成事業実施要綱、大磯町不育症治療費助成事業実施要綱				
個別計画等	大磯町子ども笑顔かがやきプラン				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	少子化対策として子どもを望む夫婦の経済的な負担を軽減（治療費の一部を助成）し、安心して妊娠出産できる環境を整え、特定不妊治療・不育治療を受け易くする。				
対象 (誰を・何を)	特定不妊治療・不育治療を行う夫婦				
内容	特定不妊治療費助成	1年度当り上限 100,000円	不育症治療費助成	1年度当り上限 100,000円	
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	1,573	1,534	1,700
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	1,573	1,534	1,700
	職員人数 (概算職員数)	人	0.20	0.28	0.28
	人件費計 (b)	千円	1,194	1,616	1,580
総事業費 (a)+(b)	千円	2,767	3,150	3,280	
事業費内訳 H 29 年度	特定不妊治療費助成 : 1,600千円 (1年度当り上限100,000円×15人、50,000円×2人) 不育症治療費助成 : 100千円 (1年度当り上限100,000円×1人)				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 特定不妊治療費助成申請数	人	16	17	18
	② 不育治療費助成申請数	人	—	1	1
活動指標 (活動量)	① 特定不妊治療費助成数	人	16	17	18
	② 不育症治療費助成数	人	—	1	1
成果指標 (達成度等)	① 特定不妊治療費助成後妊娠数	人	6	9	9
	② 不育症治療費助成後出産数	人	—	1	1

4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	総合計画に位置づける重点プロジェクトを進めるための重点項目の1つである「子育て支援（少子化対策）」の一環として、他市町村に先行する形で進めている事業である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	同様の事業を行っている全国の自治体の事業内容（実施手段）を調査・検討した結果、決定している。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	出生数／助成件数として 平成26年度 2人/18件 平成27年度 3人/16件 平成28年度 4人/17件（各年度内集計）と出産に繋がっている。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	県の上乗せ費用補助として申請者への助成を行い、治療後5割以上が妊娠・出産に結びついている。
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input checked="" type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	不育症治療については、医療保険適用外の医療費であり、尚且つ国や県の補助事業が無いなかでの、町の独自の少子化施策ではあるが、国・県に対しては補助金の創設を継続的に要望していく。
	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 特定不妊治療では、治療後5割以上が妊娠・出産に至っており、成果を達成できていると考えられる。	

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	<p>特定不妊治療は、毎年継続して10数件の申請があり、新規申請者も約半数あることから制度が浸透してきていると思われる。引き続き、県や近隣市町村の状況を把握しながら周知活動をしていく。また、男性の不妊治療が新たに助成の対象となったことへの周知を行う。不育症については、近隣市町村の状況も把握しながら、対象者への制度の周知を徹底していく。</p>
② 平成29年度に着手する事項	<p>不妊治療は健康保険の適用を受けられないため、治療費が高額であり、妊娠を望む夫婦の経済的負担を少しでも軽くすることを目的として、治療費の助成を継続的に要望していく。</p>
③ 平成30年度に着手する事項	<p>継続実施</p>

6.平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成30年3月23日

不妊・不育治療等を必要とし、治療後に妊娠、出産に至るケースも増えているため、引き続き、周知・案内していく。

予算事業名	食育推進事業	シート作成日	平成29年8月18日
		担当課名	スポーツ健康課
細分事業名	—	係名	健康増進係
		事業番号	10
		事業開始年度	平成20年度

1.総合計画上の位置づけ

柱	I 安全で安心なあたたかみのあるまちづくり	総合計画実施計画	
部門	6 保健・医療	認定番号	—
大施策	A 健康づくりの充実	事業名	—
中施策	(1) 地域ぐるみの健康づくり		

2.事業の概要

根拠法令・条例等	食育基本法				
個別計画等	神奈川県食育推進計画、けんこうプラン大磯（大磯町食育推進計画）				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	町民一人ひとりが食に対する関心を持ち、心身ともに健全な食生活を送るための知識を身につけるために食育の推進を図る。				
対象 (誰を・何を)	町民（乳幼児から高齢者まで）				
内容	けんこうプラン大磯に沿って調理実習を含んだ教室の開催、食に関する講座の開催、食生活改善推進員の養成及び育成等				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
		単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)
事業費	直接事業費 (a)	千円	417	412	413
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円	57	72	55
	一般財源	千円	360	340	358
	職員人数（概算職員数）	人	0.70	0.78	0.60
	人件費計 (b)	千円	4,178	4,410	2,746
総事業費 (a)+(b)	千円	4,595	4,822	3,159	
事業費内訳 H 29 年度	報償費：69千円 需用費：240千円 役務費：12千円 委託料：92千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 前年度講座参加者数	人	396	354	409
	② 前年度講座開催数	回	34	29	31
活動指標 (活動量)	① 現年度講座参加者数	人	354	409	270
	② 現年度講座開催数	回	29	31	27
成果指標 (達成度等)	① 前年度との比較（参加者数）	%	89	116	66
	② 前年度との比較（開催数）	%	85	107	87

4. 事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	食育基本法において、地方公共団体は食育の推進に関し、国との連携を図りつつ、自主的な施策を策定し、及び実施する責務を有すると規定されている。
	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	平成26年度からスタートした「第2次大磯町食育推進計画」に則り、各種事業、教室を開催している。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	食育推進委員会を開催する中で、毎年度、計画の進行管理を行っている。なお、平成26年度からスタートした「第2次大磯町食育推進計画」、は第1次計画の結果を踏まえた計画となっている。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	調理教室では、食材料費については、参加者の自己負担を求めている。
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	事業趣旨を伝えたうえで、一部の事業を委託することにより、人件費等の削減ができています。
	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	事業趣旨を伝えたうえで、一部の事業を委託することにより、人件費等の削減ができています。
担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	食育についての関心は高まってきているので、町民の主体的な活動についても積極的に支援する仕組みづくりについても検討する余地がある。

5. 改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	<p>引き続き、若い男性の育児参加支援としての機会が少ない若い男性に対しても、育児参加支援と合わせて「共食」の普及啓発を図る。</p> <p>料理教室の自己負担金の見直し、保育ボランティアによるお子さんの見守り保育の継続をして、どなたでも参加しやすい教室を作る。</p> <p>小中学生から募集した地場産品を使用したオリジナルレシピ「O i s o レシピ」を継続して小学校、保育園の給食に取り入れ、O i s o レシピの普及を図る。</p>
② 平成29年度に着手する事項	<p>「けんこうプラン大磯」に基づき、スポーツ、健康増進との関連性を高めて事業を進める。</p> <p>食育について町民への普及啓発を推進する食の専門家を認定する「磯食マイスター」事業について規則を制定する。</p>
③ 平成30年度に着手する事項	<p>「磯食マイスター」の募集、活用の運用を進める。</p>

6. 平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成30年3月26日

幼稚園児対象と小学生対象の料理教室をそれぞれ1回増やし、参加者増を図る。
和食・伝統料理教室では、各回のテーマの見直しを行う。

予算事業名	健康増進事業	シート作成日	平成29年8月18日
		担当課名	スポーツ健康課
細分事業名	成人健診・運動事業	係名	健康増進係
		事業番号	12
		事業開始年度	—

1.総合計画上の位置づけ

柱	I 安全で安心なあたたかみのあるまちづくり	総合計画実施計画	
部門	6 保健・医療	認定番号	—
大施策	A 健康づくりの充実	事業名	—
中施策	(2) ライフステージに合わせた健康づくり		

2.事業の概要

根拠法令・条例等	健康増進法				
個別計画等	けんこうプラン大磯（大磯町健康増進計画、大磯町スポーツ推進計画）				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	歯周病予防、生活習慣病の予防、介護予防、健康意識の向上、健康づくりの仲間づくり				
対象 (誰を・何を)	成人健診：成人歯科健診（年度中に40歳、41歳、42歳、43歳、44歳、45歳、50歳、60歳、70歳になる町民） 運動事業：生活習慣病の予防、介護予防、健康意識の向上、仲間づくりを考えている町民（75歳以下）				
内容	成人健診：歯周病予防 運動事業：健康運動指導士による中高年対象のエクササイズ教室（1教室25名位まで/2時間/年8回）				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
事業費		単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)
	直接事業費 (a)	千円	3,110	3,226	4,396
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円	1,796	1,479	1,688
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	1,314	1,747	2,708
	職員人数 (概算職員数)	人	0.26	0.40	0.40
	人件費計 (b)	千円	1,671	2,155	2,257
総事業費 (a)+(b)	千円	4,781	5,381	6,653	
事業費内訳 H 29 年度	臨時雇賃金：692千円 講師等謝金：786千円 消耗品費：198千円（おあしす、健康体操含む） 印刷製本費：435千円 通信運搬費：288千円 事業委託料 225千円 肝炎ウィル検査委託料 552千円 成人歯科健診委託料：2214千円 健康診査委託料：20千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 成人歯科健診対象者	人	1,724	1,757	4,469
	② 40歳以上の町民	人	21,274	20,720	なし
活動指標 (活動量)	① 成人歯科受診者数	回	98	122	290
	② 運動講座回数	回	8	8	なし
成果指標 (達成度等)	① 受診率	%	5.7	6.9	6.4
	② 参加者数	人	132	137	なし

4. 事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	健康増進法及び歯科口腔保健の推進に関する法律において、健康増進事業実施者は、住民の健康の増進のために必要な事業を積極的に推進するよう努めなければならないと規定されているため。
	<input type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input checked="" type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	成人歯科健診については、平塚歯科医師会に、運動事業については、実績のある業者への委託事業として実施している。受診者・運動講座の参加者数が伸び悩んでいる点が課題で、対象者とするところ、目的など再確認、検討の必要がある。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	成人歯科健診については、希望者全員が受診できている。運動講座については、町民自身の健康づくりのきっかけ、運動習慣の獲得の機会とするはずであったが、継続的に運動習慣のある方の参加が多く、また参加者の年代も生活習慣病予防よりも介護予防の意味合いが大きい。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	成人歯科健診については、近隣市町と同額で実施できるよう平塚歯科医師会に協力を求め、委託している。また、運動講座については、講座受講者の増員を期待し、健康づくり、体力づくりのきっかけとなるよう、運動できる場として町民に開放している。
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	成人歯科健診については、近隣市町と同額で実施できるよう平塚歯科医師会に協力を求めている。運動講座については、比較し業者を決めている。
	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	成人歯科健診では、個別に通知しても、受診率は確保できず、効果的な啓発が必要、その他の検診についても受診率向上を目指した取り組みが必要。

5. 改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	成人歯科健診の受診率の向上、運動事業の実施および周知方法について検討する。
② 平成29年度に着手する事項	歯及び口腔の健康づくり推進にむけて、成人歯科健診の対象年齢を拡大する。運動講座については、生活習慣病の予防・改善を目的とし、国保特定健診に関連して国保事業とする。
③ 平成30年度に着手する事項	歯及び口腔の健康づくり推進条例をもとに、歯科関連の健康づくり実践による健康寿命の延伸を目指す。

6. 平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成30年3月27日

若年層への歯及び口腔の健康づくりの意識づけを図るために、成人歯科健診の対象者に35歳を追加する。

予算事業名	健康増進事業	シート作成日	平成29年8月18日
		担当課名	スポーツ健康課
細分事業名	地域巡回型健康増進事業	係名	健康増進係
		事業番号	13
		事業開始年度	平成23年度

1.総合計画上の位置づけ

柱	I 安全で安心なあたたかみのあるまちづくり	総合計画実施計画	
部門	6 保健・医療	認定番号	—
大施策	A 健康づくりの充実	事業名	—
中施策	(1) 地域ぐるみの健康づくり		

2.事業の概要

根拠法令・条例等	健康増進法第17条				
個別計画等	けんこうプラン大磯（大磯町健康増進計画）				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	町民の健康づくりに対する関心を高め、生活習慣病の予防を始め予防医学の大切さを普及することで、自らの健康管理を積極的に行う町民が増えることにより医療費の削減を目指す。				
対象 (誰を・何を)	全町民				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地区別開催：町内24地域に出向き、保健師、管理栄養士による健康教育・相談の実施 ・母子を対象とした健康教育・相談の実施 ・保健師・管理栄養士の訪問による健康相談の実施 ・生活習慣病重症化予防講座の実施 ・健康づくりに関する新聞(広報)の発行 				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
事業費		単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)
	直接事業費 (a)	千円	833	532	771
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	833	532	771
	職員人数 (概算職員数)	人	1.69	1.82	1.40
	人件費計 (b)	千円	10,088	10,197	6,621
総事業費 (a)+(b)	千円	10,921	10,729	7,392	
事業費内訳 H 29 年度	臨時雇用 94千円 講師等謝金 480千円 消耗品等 156千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 前年度開催回数	回	224	214	220
	② 前年度参加者数	人	3,737	3,702	3,700
活動指標 (活動量)	① 現年度開催回数	回	214	210	210
	② 現年度参加者数	人	3,702	3,700	3,800
成果指標 (達成度等)	① 前年度との比較 (開催数)	%	95.5	95.5	98
	② 前年度との比較 (参加者数)	%	99.1	99.9	100

4. 事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	総合計画に位置づける重点プロジェクトを進めるための重点項目の1つである「健康づくり」の一環として、他市町村に先行する形で進めている事業である。
	<input type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input checked="" type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	平成23年度にスタートした「おあしす24健康おおいぞ事業」については、26年度は219回、延べ3,794人、27年度は224回、3,737人の参加と事業も拡大し、町民の健康づくりの支援が確実に拡大していくことが確認できる。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	健康意識の向上に必要な事業のため、継続しての参加や参加数の増加が見られる。事業を継続して取り組むことにより地域の健康課題をより具体的に捉えの新たな事業展開にもつながっている。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	地域の健康づくり団体や介護保険事業所・薬局・病院等と連携した事業展開を行っている。
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	食生活改善推進団体やスクエアステップリーダー会など、地域の健康づくり団体の協力により、コスト削減ができています。
	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	町民への広報、啓発を行い、事業を利用する人が増えることで健康意識が高まることで成果を得ていると考えられる。

5. 改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	町民の健康意識の向上、自己の健康管理を積極的に行なえるような町民を増やしていくための取り組みは、町民に魅力的なものとなるような運営が必須である。対象とする年代、見合った内容、方法を検討しながら、広く行っていく必要がある。
② 平成29年度に着手する事項	各地区の窓口担当者が参加するおあしすミーティングによる、地域住民の直接の声を把握し、次年度以降の事業計画に活かす。
③ 平成30年度に着手する事項	地域の方と話し合いを持ちながら運営をする。

6. 平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成30年3月23日

地域の方との話し合いを持つ機会を持ったことにより、健康づくりに向け共に考えることができ、運営がしやすくなったので、引き続きミーティングを行いながら進めていく。

予算事業名	健康増進事業	シート作成日	平成29年8月18日
		担当課名	スポーツ健康課
細分事業名	オリジナル健康体操事業	係名	健康増進係
		事業番号	14
		事業開始年度	平成11年度

1.総合計画上の位置づけ

柱	I 安全で安心なあたたかみのあるまちづくり	総合計画実施計画	
部門	6 保健・医療	認定番号	—
大施策	A 健康づくりの充実	事業名	—
中施策	(1) 地域ぐるみの健康づくり		

2.事業の概要

根拠法令・条例等	健康増進法				
個別計画等	けんこうプラン大磯（大磯町健康増進計画、大磯町スポーツ推進計画）				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	生活習慣病の予防、介護予防、健康意識の向上、仲間づくり				
対象 (誰を・何を)	町民に対して「おおいそ骨太体操」「大磯こゆるぎ体操」を普及啓発				
内容	町民自身が生活習慣病の予防、介護予防、健康意識の向上、仲間づくりを推進するために、おおいそ骨太体操ボランティアや大磯こゆるぎ体操普及員の協力を得て、町民へ広く普及する。				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	263	235	245
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	263	235	245
	職員人数 (概算職員数)	人	0.16	0.12	0.12
	人件費計 (b)	千円	955	693	677
総事業費 (a)+(b)	千円	1,218	928	922	
事業費内訳 H 29 年度	講師謝金 20千円、委託料 225千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 町民	人	32,377	31,479	31,431
	②				
活動指標 (活動量)	① 骨太体操実施回数	回	103	114	117
	② こゆるぎ体操実施回数	回	499	387	400
成果指標 (達成度等)	① 延べ参加者数	人	2,474	2,407	2,470
	② 延べ参加者数	人	7,147	5,414	5,600

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 本町の健康増進計画・スポーツ推進計画に基づき、体操のボランティアや普及員が主体的に行っている。
	・実施手段は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 町民が気軽に参加できるように、町内の公民館等を会場に実施及び普及活動を行っている。また、ボランティアや普及員自身の地域や所属団体の活動の中での普及も行っている。
成果	・意図した成果が得られているか	理由	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 ふれあい会館等で定期開催される講習会で大磯骨太体操を、おあしす健康おおいぞの地区会館会場や地域の高齢者のつどい等で、こゆるぎ体操が実施されており、参加者の健康増進とともに、町の健康づくりの意識を向上させている。
	・コストに対して効率的か	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他 体操ボランティアや普及員（町民）の協力を得て、低いコストで町民に広く普及しているため効率的だと思われる。
効率性	・コストの削減等を図ったか	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他 骨太体操ボランティアの会の活動が一部自主運営が出来ているので、町委託分と会の独自活動分を分けて委託している。
	担当課による評価	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	
		評価理由 健康増進計画の「みんなでつくろうみんなの健康」を推進しており、参加者数から鑑みると成果が出始めている。	

5. 改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	体を動かすきっかけとなるような存在としての町民への周知の拡大を図る。
② 平成29年度に着手する事項	2つの町のオリジナル体操とその他の地域の健康づくり団体（スクエアステップリーダー会ほか）との連携を図る。ボランティアや普及員の組織と町の支援体制を整備する。
③ 平成30年度に着手する事項	スクエアステップのひろば（2つのオリジナル健康体操とスクエアステップ）を充実させる。

6. 平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成30年3月23日

スクエアステップのひろばを介護予防として委託し、その中に、おおいそ骨太・こゆるぎ体操を盛り込み、さらに体操普及に努める。

予算事業名	スポーツ推進委員運営事業	シート作成日	平成29年8月18日
		担当課名	スポーツ健康課
細分事業名	—	係名	スポーツ推進係
		事業番号	16
		事業開始年度	—

1.総合計画上の位置づけ

柱	Ⅱ 安全で安心なあたたかみのあるまちづくり	総合計画実施計画	
部門	7 健康スポーツ	認定番号	—
大施策	A スポーツレクリエーション活動の推進	事業名	—
中施策	(2) 団体・指導者の育成、指導体制の充実		

2.事業の概要

根拠法令・条例等	スポーツ基本法、大磯町スポーツ推進委員に関する規則				
個別計画等	けんこうプラン大磯				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	スポーツ推進を目的としスポーツの実技指導、その他スポーツに関する指導、助言を行い、さらにはスポーツ推進の企画・コーディネーターとしての役割を担う。				
対象 (誰を・何を)	全町民				
内容	スポーツ実技の指導、スポーツ活動の促進のための組織の育成、行政機関の行うスポーツ健康事業へ協力するなどのスポーツ推進事業を行う。				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	776	864	892
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	776	864	892
	職員人数 (概算職員数)	人	0.23	0.28	0.23
	人件費計 (b)	千円	1,373	1,616	1,298
総事業費 (a)+(b)	千円	2,149	2,480	2,190	
事業費内訳 H 29 年度	報酬：567千円、旅費：58千円、需用費：198千円、役務費：7千円、負担金補助及び交付金：62千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① スポーツ推進委員	人	19	21	21
	②				
活動指標 (活動量)	① 主催イベント数	回	4	5	5
	②				
成果指標 (達成度等)	① 主催イベント参加者数	人	210	229	200
	② ユニカール教室参加者数	人	500	672	600

4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	スポーツ基本法において町のスポーツを推進する役割が明記され、町が委嘱している委員が組織している団体であるため、妥当である。
	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	町予算を一部支出しているが、協議会によって自主的に運営を行っているため、妥当である。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	ユニカールが町民に普及され、平成24年度にユニカールクラブが創設し、ユニカール大会も多くの町民が参加している。ユニカール以外のスポーツ種目やイベントにも着手し、さらなるスポーツ推進活動をしていく余地がある。
	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	町から委嘱を受けスポーツの実技の指導や助言を行っている、スポーツ推進委員が自主事業としてスポーツイベント活動をすることにより、町の予算を最小限に支出している。
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	イベントの開催には、町内の企業や商店に協賛を募って運営している。
	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 自主事業は一定の事業の評価はできるが、今後各種団体との協力を強化して、運動公園も活動場所として考慮し、自主事業をさらに推進していくべきである。	

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	<p>町民の多様化するニーズを捉えたスポーツ教室等の開催 スポーツ行事の企画・運営等の活動を町民と共に推進 スポーツ推進委員の高年齢化による、若い人材の確保</p>
② 平成29年度に着手する事項	<p>スポーツ推進委員協議会によりニュースポーツの実技指導、スポーツイベントやスポーツ団体の事業や行事への協力及び町民に対してスポーツ推進の指導助言を行う。</p>
③ 平成30年度に着手する事項	<p>スポーツ推進委員が町民のニーズを踏まえたスポーツ行事やスポーツ活動を自主的に行い、地域のスポーツ推進のコーディネーターとしての役割を充実させる必要がある。 スポーツ推進委員の人材確保・新たなニュースポーツの発掘</p>

6.平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成30年3月27日

ユニカール大会等、町民が参加しやすいスポーツやイベントを開催する。また、協議会の自主事業も実施し、さらなるスポーツ推進活動を行っていく。

予算事業名	保健体育総務運営事務事業	シート作成日	平成29年8月18日
		担当課名	スポーツ健康課
細分事業名	—	係名	スポーツ推進係
		事業番号	17
		事業開始年度	—

1.総合計画上の位置づけ

柱	Ⅱ 安全で安心なあたたかみのあるまちづくり	総合計画実施計画	
部門	7 健康スポーツ	認定番号	—
大施策	A スポーツレクリエーション活動の推進	事業名	—
中施策	(2) 団体・指導者の育成、指導体制の充実		

2.事業の概要

根拠法令・条例等	スポーツ基本法、大磯町スポーツ表彰要綱、大磯町スポーツ少年団活動事業補助金交付要綱				
個別計画等	けんこうプラン大磯				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	町民の健康づくり、社会体育活動を推進するため、関係機関との連絡調整を行うとともにスポーツ団体等への補助を行う。				
対象 (誰を・何を)	全町民				
内容	スポーツ基本法や国や県の計画や指針に基づき策定した大磯町スポーツ推進計画を進行管理する。また、レクリエーション協会・スポーツ少年団への支援を行う。スポーツ競技力の向上及び町民のスポーツ活動の高揚を図るため、各種スポーツ競技において優秀な成績を収めた方、スポーツの普及振興に尽力された方々を讃えるためにスポーツ表彰を行う。				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
事業費		単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)
	直接事業費 (a)	千円	655	740	707
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	655	740	707
	職員人数 (概算職員数)	人	0.33	0.33	0.23
	人件費計 (b)	千円	1,637	1,905	1,298
総事業費 (a)+(b)	千円	2,292	2,645	2,005	
事業費内訳 H 29 年度	報酬：56千円 旅費：5千円 需用費：238千円 役務費：29千円 委託料：100千円 使用料及び賃借料：209千円 負担金補助及び交付金：70千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① スポーツ少年団	団体	4	4	3
	②				
活動指標 (活動量)	① スポーツ少年団数	人	178	152	117
	②				
成果指標 (達成度等)	① スポーツ少年団活動件数	回	113	100	77
	②				

4. 事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	町が国や県との連携を図りつつ、自主的かつ主体的に、地域の特性に応じたスポーツ施策を策定し、実施する責務がある。
	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	町がスポーツ推進活動を効率的に行うため、民間団体へイベントの委託や青少年を対象とする団体への補助金を支出している。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	町民の誰もが、いつでも、どこでも、気軽にスポーツや健康づくりに取り組むことができる環境づくりを町民と協働して推進している。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	大学や民間企業の協力によるスポーツ教室やイベントの開催を事業内に効率的に取り込んでいる。
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	経常経費や負担金経費が主である。
	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	経常経費や負担金経費が主である。
担当課による評価	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	町民の健康づくり、社会体育活動を推進するため、事業を実施している。団体においても生涯スポーツ社会の実現のため、自主的活動を展開している。

5. 改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	補助団体の自主的な事業の推進や総合型地域スポーツクラブとの連携。スポーツ少年団の加入団体の増による青少年の育成。
② 平成29年度に着手する事項	補助団体の自主的な事業の推進やスポーツ団体等との連携。
③ 平成30年度に着手する事項	様々なニーズに応じたスポーツ教室をスポーツ関係団体や民間スポーツクラブなどと協力して推進する。

6. 平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成30年3月27日

スポーツに対する町民の関心を高めるとともに、町のスポーツ推進、選手の士気高揚のためスポーツ表彰を継続し行う。

予算事業名	町体育協会育成補助事業	シート作成日	平成29年8月18日
		担当課名	スポーツ健康課
細分事業名	—	係名	スポーツ推進係
		事業番号	18
		事業開始年度	—

1.総合計画上の位置づけ

柱	Ⅱ 安全で安心なあたたかみのあるまちづくり	総合計画実施計画	
部門	7 健康スポーツ	認定番号	—
大施策	A スポーツレクリエーション活動の推進	事業名	—
中施策	(2) 団体・指導者の育成、指導体制の充実		

2.事業の概要

根拠法令・条例等	スポーツ基本法、大磯町スポーツ表彰要綱、大磯町スポーツ少年団活動事業補助金交付要綱、大磯町レクリエーション普及事業補助金交付要綱				
個別計画等	けんこうプラン大磯				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	町のスポーツ活動の振興と普及を図るため、スポーツ基本法において町は広く住民が自主的かつ積極的に参加できるような競技会、スポーツ教室等のスポーツ行事の実施及び奨励に基づき、大磯町体育協会と連携をとり、町のスポーツ大会の維持振興を図る。				
対象 (誰を・何を)	大磯町体育協会				
内容	各種大会開催の補助金、活動に対するスポーツ振興交付金の交付、小諸市体育協会との交流事業補助金及びかながわ駅伝競走大会への選手派遣委託				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	2,082	2,042	2,016
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	2,082	2,042	2,016
	職員人数 (概算職員数)	人	0.35	0.35	0.25
	人件費計 (b)	千円	1,757	2,020	1,411
総事業費 (a)+(b)	千円	3,839	4,062	3,427	
事業費内訳 H 29 年度	委託料：150千円 負担金補助及び交付金：1,866千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 町体育協会	部数	18	17	17
	②				
活動指標 (活動量)	① 大会数	大会	27	26	26
	②				
成果指標 (達成度等)	① 参加者数	人	2,163	2,105	2,200
	② 協力者数	人	635	568	550

4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	スポーツ基本法のスポーツ行事の実施及び奨励に基づき実施する。
	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	町の競技スポーツの中心となる各種スポーツ大会の開催を推進し、町民の競技力の向上を図るため体育協会に補助をする。
成果	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	スポーツ人口の拡大やスポーツや運動の習慣化及び町民の体力向上、健康づくりに繋がっている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	体育協会との連携による町民スポーツの振興・普及は十分効率的である。
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	町民のスポーツの競技力、体力の向上を図るために各種スポーツ大会を開催している体育協会に対して、予算の範囲内で補助金を交付している。
	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 体育協会との連携により、各種大会、各種イベントの開催は、町民の体力向上、健康づくりに繋がっている。今後も参加しやすい環境を作っていく。	

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	スポーツ基本法に規定する「スポーツ行事の実施及び奨励」のため大磯町体育協会と連携して、町民の多様化するニーズの把握や新規競技大会の開催など検討する。
② 平成29年度に着手する事項	町のスポーツの普及・振興を図るため、各種スポーツ大会の開催を体育協会と共に推進する。
③ 平成30年度に着手する事項	町民のスポーツの普及・振興を図るために体育協会が実施する各種スポーツ大会を支援し、参加者数の増を目指していく。

6.平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成30年3月27日

町のスポーツの普及・進行を図るため、体育協会による競技スポーツの中心となる各種スポーツ大会の開催を推進し、町民の競技力の向上を図る。

予算事業名	一周駅伝大会運営事業	シート作成日	平成29年8月18日
		担当課名	スポーツ健康課
細分事業名	—	係名	スポーツ推進係
		事業番号	19
		事業開始年度	—

1.総合計画上の位置づけ

柱	Ⅱ 安全で安心なあたたかみのあるまちづくり	総合計画実施計画	
部門	7 健康スポーツ	認定番号	—
大施策	A スポーツレクリエーション活動の推進	事業名	—
中施策	(1) 活動環境の充実		

2.事業の概要

根拠法令・条例等	スポーツ基本法				
個別計画等	けんこうプラン大磯				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	町民の体力づくりの一環として体育活動の理解と関心を深め、町民の体力向上と健康的な生活の確立を目指し、駅伝の競技力の向上を図る。				
対象 (誰を・何を)	町民（大磯一周駅伝については、中学生以上のチームで構成、小学生駅伝大会は、小学4年生～6年生）				
内容	平成29年度で第64回を迎える大磯一周駅伝大会（大磯中スタート・運動公園ゴール）と、小学生を対象とした小学生駅伝の管理運営を行う。				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	616	598	1,160
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	616	598	1,160
	職員人数 (概算職員数)	人	0.35	0.35	0.25
	人件費計 (b)	千円	2,089	2,020	1,411
総事業費 (a)+(b)	千円	2,705	2,618	2,571	
事業費内訳 H 29 年度	職員手当等：315千円 需用費：421千円 役務費81千円 委託料76千円 使用料及び賃借料：130千円 備品購入費：137千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 参加チーム数 (一周)	チーム	32	37	35
	② 参加チーム数 (小学生)	チーム	13	11	14
活動指標 (活動量)	① スタッフ数 (ボランティア)	人	169	172	170
	② スタッフ数 (職員)	人	59	58	58
成果指標 (達成度等)	① 協賛企業数	社	10	10	10
	② 参加者数	人	192	222	210

4. 事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	スポーツ基本法において、市町村は広く住民が自主的かつ積極的に参加できるようなスポーツ行事を実施するよう努めなければならないと規定されている。
	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	町が主催することにより円滑な運営ができていますが、事業委託を含めた役割分担を行い、町の人件費などの経費節減を図る検討が必要。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	参加チーム数も多く、年始の恒例行事として定着したイベントで町民に親しまれており、町民の体育活動の理解と関心を深めている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	最小限の予算と、ボランティアスタッフを活用しているため、おおむね効率的であるが、参加費等の受益者負担を検討する必要がある。
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	イベントの開催には、町内で協賛を募って運営している。
	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	町主催らより円滑に実施されているが、スタッフの確保に苦慮している。

5. 改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	スタッフの負担軽減、スタッフ数の確保や、参加チームからのボランティアの参加について検討する。
② 平成29年度に着手する事項	役員等の人材不足からボランティアの人員の確保の検討 ストップウォッチ等備品の補充
③ 平成30年度に着手する事項	地区チームの参加促進の検討（帰省地参加） 参加クラブチームからの駅伝役員ボランティア参加

6. 平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成30年3月27日

大磯一周駅伝大会の役員協力の人員確保、ボランティア募集、協賛企業の確保。
平成29年度から実施の地区チーム参加促進を目的とした、帰省地参加資格の継続また、団体チームからの役員協力など参加条件の継続。
駅伝通過地区見直し、また、協力団体等の負担軽減のため、駅伝コース変更の検討。

予算事業名	スポーツ健康イベント事業	シート作成日	平成29年8月18日
		担当課名	スポーツ健康課
細分事業名	—	係名	スポーツ推進係
		事業番号	20
		事業開始年度	—

1.総合計画上の位置づけ

柱	Ⅱ 安全で安心なあたたかみのあるまちづくり	総合計画実施計画	
部門	7 健康スポーツ	認定番号	—
大施策	A スポーツレクリエーション活動の推進	事業名	—
中施策	(1) 活動環境の充実		

2.事業の概要

根拠法令・条例等	スポーツ基本法				
個別計画等	けんこうプラン大磯				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	スポーツと健康を中心に、多種多様な内容で、幼児から高齢者まで誰もが参加できるイベントを開催し、町民のスポーツ推進及び健康増進を図る。				
対象 (誰を・何を)	全町民				
内容	多くの町民に生涯スポーツの体験と健康づくりの積極的な参加を促すため、関係団体から構成される実行委員会にてイベントを開催				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> その他				
	単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	1,200	1,100	1,000
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円	186	249	291
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	1,014	851	709
	職員人数 (概算職員数)	人	0.40	0.48	0.41
	人件費計 (b)	千円	2,388	2,709	2,314
総事業費 (a)+(b)	千円	3,588	3,809	3,314	
事業費内訳 H 29 年度	負担金補助及び交付金：1,000千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 町民	人	32,377	31,479	31,431
	②				
活動指標 (活動量)	① 参加者数	人	5,500	5,500	5,500
	②				
成果指標 (達成度等)	① 参加率	%	17.0	17.5	17.5
	②				

4. 事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	実行委員会形式を取り、民間と行政が連携し、開催している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	行政と民間と連携して開催している。
成果	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	およそ5,500人の参加者があり、各種スポーツの体験や健康づくりへの取組みのきっかけづくりが出来ている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率的 <input type="checkbox"/> その他	理由	民間と行政が連携をとり、民間主導で開催されている。
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	協賛を募り多くの民間企業、団体に協賛していただいている。
	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	出店団体数も例年並みで町民ニーズに合致したイベントと考えられる。
担当課による 評価			

5. 改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	民間主導で開催するイベントで、町からは限られた交付金のため部会員の皆さんにより、多くの協賛依頼をお願いし、より多くの予算確保が必要である。
② 平成29年度に着手する事項	スポーツイベントを民間主導において行政と関係団体とで協力し開催する。 星槎会場で行っていたブースを大磯運動公園会場に統合することで、一極集中化して参加者の利便性を図る。
③ 平成30年度に着手する事項	民間主導で開催するチャレンジフェスタ実行委員会の中で子ども（小学生）だけではなく、もう少し上の年齢層にも多く来場してもらえるような種目やブースを設ける検討の必要がある。町としては平成29年度も実行委員会を支援しチャレンジフェスタを開催していく。さらに、多くの協賛金が得られるように企業に協賛アピールを進めていく。 また、新たなスポーツイベント開催に向けた、準備・検討を進める。

6. 平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成30年3月27日

多くの町民が気軽にスポーツに取り組むことができるよう、スポーツを体験する機会を提供するとともに、体力向上や健康増進に役立つ、スポーツイベントを民間主導において関係団体から構成される実行委員会にてイベントを開催する。
また、平成30年度より参加するチャレンジデー（5月30日）の実施に向けた準備。

予算事業名	子どもスポーツチャレンジ事業	シート作成日	平成29年8月18日
		担当課名	スポーツ健康課
細分事業名	—	係名	スポーツ推進係
		事業番号	21
		事業開始年度	—

1.総合計画上の位置づけ

柱	Ⅱ 安全で安心なあたたかみのあるまちづくり	総合計画実施計画	
部門	7 健康スポーツ	認定番号	—
大施策	A スポーツレクリエーション活動の推進	事業名	—
中施策	(1) 活動環境の充実		

2.事業の概要

根拠法令・条例等	スポーツ基本法				
個別計画等	けんこうプラン大磯				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	幼児期や少年期にスポーツや運動に親しむ機会を多く提供する。				
対象 (誰を・何を)	町内在住・就学及び未就学の児童				
内容	町立プール、学校プールにおいて子ども水泳教室を開催、テニス教室、体操教室等を民間スポーツクラブと連携して開催				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	481	352	392
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円	10		
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	471	352	392
	職員人数 (概算職員数)	人	0.32	0.32	0.22
	人件費計 (b)	千円	1,578	1,847	1,241
総事業費 (a)+(b)	千円	2,059	2,199	1,633	
事業費内訳 H 29 年度	需用費：24千円 委託料：368千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 年中～小学6学年	人	2,143	1,971	2,000
	②				
活動指標 (活動量)	① 教室開催日数	日	15	8	8
	②				
成果指標 (達成度等)	① 参加人数	人	492 (親子)	415 (親子)	400 (親子)
	②				

4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	スポーツ基本法において、市町村は広く住民が自主的かつ積極的に参加できるようなスポーツ行事を実施するよう努めなければならないと規定されている。
	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	スポーツクラブ等に委託することにより、安全かつ参加者にとっても楽しい教室として開催できている。
成果	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	例年、多くの参加者がある教室となっている。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	募集の受付、広報等の周知は町で行っているが、それ以外は事業委託となっており、効率的である。
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	安全面や指導面等も考慮して委託事業として、事業費用も安価で開催できた。さらには、スポーツ指導者として地域の潜在的な人材を確保し、事業展開をできればよりコスト削減が図られる。
	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	事業委託することにより安全で内容も充実できている。

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	各教室に参加する人の受益者負担額
② 平成29年度に着手する事項	より多くの参加があるような応募方法の検討
③ 平成30年度に着手する事項	子どものスポーツ教室の新たなスポーツの発掘

6.平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成30年3月27日

子ども達がスポーツや運動に親しむ機会を提供するために、水泳教室、テニス教室、かけっこ教室、バドミントン教室を行う。
平成31年度以降、海で泳ぐことを目的とした教室実施の検討。

予算事業名	武道館維持管理事業	シート作成日	平成29年8月18日
		担当課名	スポーツ健康課
細分事業名	—	係名	スポーツ推進係
		事業番号	22
		事業開始年度	—

1.総合計画上の位置づけ

柱	Ⅱ 安全で安心なあたたかみのあるまちづくり	総合計画実施計画	
部門	7 健康スポーツ	認定番号	—
大施策	A スポーツレクリエーション活動の推進	事業名	—
中施策	(3) 公共施設の活用の整備		

2.事業の概要

根拠法令・条例等	スポーツ基本法、大磯町立武道館条例				
個別計画等	けんこうプラン大磯				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	武道館の維持管理及び運営、町民の武道振興				
対象 (誰を・何を)	全町民				
内容	武道団体の活動への支援、武道（柔道、剣道、空手道）教室を実施し参加者の体力向上、心身の健全な発達に寄与する。				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	837	705	992
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円	83	9	
	一般財源	千円	754	696	992
	職員人数 (概算職員数)	人	0.42	0.32	0.22
	人件費計 (b)	千円	1,509	1,847	1,241
総事業費 (a)+(b)	千円	2,346	2,552	2,233	
事業費内訳 H 29 年度	需用費：135千円 委託料：830千円 備品購入費：27千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 利用登録団体	件	25	25	27
	② 利用可能件数	件	1432	120	1,432
活動指標 (活動量)	① 利用件数	件	1111	86	1,100
	②				
成果指標 (達成度等)	① 稼働率	%	77.6	71.7	76.8
	②				

4.事務事業の評価

妥当性	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
効率性	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）
担当課による 評価			評価理由 スポーツ教室も継続して行われており、武道団体利用者も多い事から、武道の推進に努めることが出来ていると考える。

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	施設が古くトイレの詰りが発生している。また、衝撃吸収材がはがれている部分がある。
② 平成29年度に着手する事項	修繕が必要な箇所を予算の範囲内で修繕を行う。
③ 平成30年度に着手する事項	武道教室（3団体）を継続して行い、武道の振興と心身の健全な発達を目指していく。

6.平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日 平成30年3月27日

武道館の適切な維持管理に努め、今後も武道教室を継続して行う。また 武道での使用だけでなく、体操等の利用もできるため、さらに稼働率が上がるよう検討していく。

予算事業名	施設開放管理運営事業	シート作成日	平成29年8月18日
		担当課名	スポーツ健康課
細分事業名	学校施設等開放事業	係名	スポーツ推進係
		事業番号	23
		事業開始年度	—

1.総合計画上の位置づけ

柱	Ⅱ 安全で安心なあたたかみのあるまちづくり	総合計画実施計画	
部門	7 健康スポーツ	認定番号	—
大施策	A スポーツレクリエーション活動の推進	事業名	—
中施策	(3) 公共施設の活用の整備		

2.事業の概要

根拠法令・条例等	スポーツ基本法、大磯町立武道館条例				
個別計画等	けんこうプラン大磯				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	学校施設を学校教育に支障がない範囲で広く町民へ開放し、町民のスポーツ推進及び健康増進、体力向上を図る。				
対象 (誰を・何を)	町立小・中学校のグラウンド及び体育館、大磯中学校の夜間照明施設を利用する団体				
内容	町立小・中学校のグラウンド及び体育館、大磯中学校の夜間照明施設を町民へ開放するための管理運営を行う。				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	418	415	461
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円	335	330	330
	一般財源	千円	83	85	131
	職員人数 (概算職員数)	人	0.52	0.52	0.22
	人件費計 (b)	千円	2,106	3,001	1,241
総事業費 (a)+(b)	千円	2,524	3,416	1,702	
事業費内訳 H 29 年度	需用費：116千円 委託料：345千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 町民	人	32,377	31,479	31,431
	② 利用可能件数	件	3,201	3,478	3,300
活動指標 (活動量)	① 利用件数 (グラウンド・体育館)	件	2,182	2,319	2,200
	②				
成果指標 (達成度等)	① 稼働率 (グラウンド・体育館)	%	68.2	66.7	66.7
	②				

4.事務事業の評価

妥当性	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由 ・実施主体は妥当か 町が小中学校の学校体育施設を開放することは、町民のスポーツ活動の場として有効活用され、日常的にスポーツをする町民の割合を増加させることになる。
妥当性	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由 ・実施手段は妥当か 公共施設利用予約システムの導入や一部事業委託するなど実施方法は、妥当と思われる。
成果	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由 ・意図した成果が得られているか 町で管理しているスポーツ施設も少なく、小中学校体育施設の開放により身近な場所で気軽にスポーツ活動の場を提供できている。
効率性	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由 ・コストに対して効率的か 予約システムの導入により、効率的に事務処理が可能となった。夜間照明の管理はシルバー人材センターに委託することで効率的に行っている。
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由 ・コストの削減等を図ったか 施設予約システムも県内自治体が参加する共同システムを利用しており、これ以上のコスト削減を図る余地はない。
担当課による 評価	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）
評価理由 公共施設利用予約システム導入により事務処理の軽減が図られているが、現状の管理体制では、管理責任の観点から見直しの検討が必要	

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点 グラウンド・体育館の使用料徴収の検討
② 平成29年度に着手する事項 各小・中学校での運用状況を調査して問題点・改善点を明確にする。
③ 平成30年度に着手する事項 各小・中学校での利用状況の確認し、適切な利用を推進していく。

6.平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成30年3月27日

いつでも、誰でも気軽に楽しめる生涯スポーツを推進するためにも、日常生活圏におけるスポーツ施設の確保は必要であり、学校施設の開放については、今後も積極的に促進し、スポーツの推進を図っていく。

予算事業名	施設開放管理運営事業	シート作成日	平成29年8月18日
		担当課名	スポーツ健康課
細分事業名	学校プール開放事業	係名	スポーツ推進係
		事業番号	24
		事業開始年度	—

1.総合計画上の位置づけ

柱	Ⅱ 安全で安心なあたたかみのあるまちづくり	総合計画実施計画	
部門	7 健康スポーツ	認定番号	—
大施策	A スポーツレクリエーション活動の推進	事業名	—
中施策	(3) 公共施設の活用の整備		

2.事業の概要

根拠法令・条例等	学校教育法、スポーツ基本法、大磯町公立学校使用条例及び施行規則、大磯町立小学校及び中学校の施設の開放に関する規則、大磯町立学校屋外運動場夜間照明施設使用条例及び施行規則				
個別計画等	けんこうプラン大磯				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	学校プールを夏休み期間中で広く町民へ開放し、より地域に開かれた施設としての有効活用の促進				
対象 (誰を・何を)	大磯町民				
内容	町立小学校の学校プールを町民へ開放するための管理運営を行う。				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	3,243	3,232	3,302
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	3,243	3,232	33,202
	職員人数 (概算職員数)	人	0.43	0.43	0.33
	人件費計 (b)	千円	2,234	2,482	1,862
総事業費 (a)+(b)	千円	5,477	5,714	5,164	
事業費内訳 H 29 年度	需用費：155千円 役務費：147千円 委託料：3,000千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 町民	人	32,377	31,479	31,431
	②				
活動指標 (活動量)	① プール開設日数	日	44	41	42
	②				
成果指標 (達成度等)	① 入場者数	人	3,316	3,007	2,800
	②				

4. 事務事業の評価

妥当性	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	町が身近にある学校プールを開放することで、手軽に水に親しむことができ、子供の水に対する恐怖心をなくすとともに、健康づくりにもつながることから、妥当である。
	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	小学校が夏休み期間中での開放実施やプール監視委託するなど実施方法は、妥当と思われる。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	利用者は主に小学校の児童及びその保護者であり有効に活用されている。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	費用のほとんどが監視業務委託となっている。
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	利用者の安全確保を第一に考え、監視業務を専門的なノウハウを持つ業者に委託している。
	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	利用者の安全確保を第一に考え、監視業務を専門的なノウハウを持つ業者に委託している。
担当課による 評価	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	学校プールの一般開放は地域住民からのニーズが高く、平成24年度より実施している事業で町民に水泳が出来る環境を提供している。

5. 改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	町民への水泳の機会の提供、健康増進に寄与することを目指す。
② 平成29年度に着手する事項	安全・安心にプール開放が出来るように監視業務委託業者と協同し開放を図る。
③ 平成30年度に着手する事項	入場者数の推移を見据えて、プール開放の方向性（開放実施期間）の検討が必要

6. 平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成30年3月27日

入場者の推移を見据えて、プール開放の方向性（開放実施期間）の検討が必要。 学校プールを活用した子ども水泳教室の実施。
